

Voice

伊藤病院だより
SUMMER

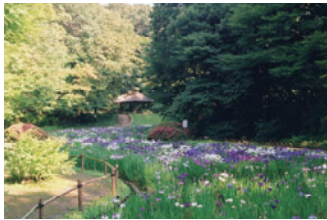
2006年6月1日発行 第14号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



表参道寄り道スポット

「明治神宮御苑」

明 治神宮御苑は江戸初期以来加藤家・井伊家の下屋敷の庭園でしたが、明治時代に宮内省の所管となり、代々木御苑と称され、明治天皇、昭憲皇太后にはたびたびお出ましになられた緑りの深い名苑です。



▲菖蒲田(6月中旬頃)

苑内には隔雲亭(かくうんてい)、お釣台、四阿(あづまや)、菖蒲田(しょうぶだ)、清正井(きよまさのいど)などがあり、曲折した小径が美しい熊笹の間を縫い、武蔵野特有の雑木林の面影をとどめています。中でも明治天皇が皇后さまのために植えられた菖蒲田の花菖蒲の見事さは、諸外国にまでよく知られています。花菖蒲は渋谷区の「区の花」にも指定されていて、こちらの菖蒲田には150種類1500株あり、6月中旬に見ごろを迎えるそうです。樹間には野鳥が見られ都会の雑踏を忘れさせる別天地です。参拝かたがたのんびりお散歩してみたいかかでしょうか?



▲花菖蒲

類1500株あり、6月中旬に見ごろを迎えるそうです。樹間には野鳥が見られ都会の雑踏を忘れさせる別天地です。参拝かたがたのんびりお散歩してみたいかかでしょうか?

4月上旬	6月	12月上旬
ヤマブキ・ツツジ開花 落葉広葉樹の新芽見頃	花菖蒲 睡蓮の開花	モミジ等の紅葉見頃

明治神宮御苑 HP <http://www.meijijingu.or.jp/>
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町 TEL 03-3379-5511(代表)
開苑時間/(6月) 8:00~17:00(土・日 18:00まで)
開苑時間/(7・8月) 9:00~16:30
入苑料/大人 500円 小・中学生 200円(年中無休)
最寄り駅/JR山手線「原宿」・東京メトロ千代田線「明治神宮前」より徒歩5分

表参道お休み処

「京はやしや 青山店」

①お勧めのポイント

白を基調としたガラス張りの店内からは外の景色が眺められ、落ち着いたお茶がいただける空間となっています。毎朝その日に仕込まれるわらび餅や抹茶ゼリーはブルブルの食感と薫り高い抹茶の風味を味わえます。

②お勧めのメニュー

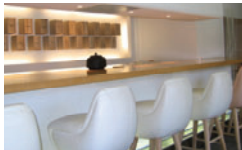
お勧めの千代の白パフェは高級抹茶・千代の白をふんだんに使ったソフトクリーム、アイス・クリーム、ゼリーなどを十分に楽しめます。

■千代の白パフェ(抹茶)
1,050円



お店の方から一言

京はやしやは250年の歴史を踏まえながらも、時代の求める商品を提供したいと考えております。老舗の本物の味をどうぞ堪能ください。



▲店内カウンター席



▲店内から見える外の景色

住所: 東京都渋谷区神宮前5-52-2 オーバルビルB1F
TEL: 03-3498-8700
営業時間: 11:30~23:00 (22:00ラストオーダー)
定休日: 無休(ただし年末年始は休みあり)

お店 DATA

表参道ランチ&グルメ情報

TESORO (テソロ)

伊藤病院とマクドナルドの間の道に入り、ロイヤルホストの向かいのビルの階段を降りていくと、フレンチテイストのスペイン料理のお店が見つかります。メニューは日替わりのパスタや貝沢山のサラダ、コースで楽しめる本格フレンチ料理やスペインの代表的料理バリエアまで幅広く揃っているの、メニュー選びにじっくり悩んでみてください。



▲店内テーブル席
バスターランチの一例(1,050円)▶

お店 DATA

住所: 東京都渋谷区神宮前4-2-17 青山夏野ビルB1F
TEL: 03-5770-3996
営業時間: ランチタイム 11:30~15:30 (L.O.14:30)
営業時間: ディナータイム 18:00~23:30 (L.O.22:00)

お店の方から一言

契約農家から直送される野菜やその日に仕入れた鮮魚など、素材にこだわった料理の数々をランチタイムにリーズナブルな価格でご提供いたしております。予約も受け付けているので予約してからお出かけください。



薬剤 Q&A 第1回

Q 薬を食後に服用するのはなぜですか?

A 薬袋に「食後に服用」と記載されている場合、分類すると主に3つの理由が考えられます。1番目の理由は飲み忘れを防止するために服用の目安を食事に関連付けている場合です。当院で使用される薬を例にするとチラーゼンSなどの甲状腺ホルモン薬やメルカゾール・チウラジールなどの抗甲状腺薬などがあります。食事をとらないときでも毎日同じ時刻に服用してください。2番目の理由は胃腸障害を軽減させたい場合です。胃腸障害を起こしやすいプレドニゾンなどの副腎皮質ホルモンや消炎鎮痛剤などを、食事をしないで服用するときは牛乳を飲んで胃に膜を作ってから服用することをお勧めします。3番目の理由は薬の吸収をよくするために胆汁の分泌が必要な場合や脂質に溶けることが必要な場合です。胆汁分泌が必要なエパデール(高脂血症治療薬)や脂溶性が高いヒダントール(抗てんかん薬)などは、何か食べてから服用することが好ましいと言えます。このように食後に服用する薬でも理由が異なります。詳しくは薬をもらっている施設の医師または薬剤師にご相談ください。

伊藤病院で診察や治療を受ける大部分の方は外来通院により診療を受けられています。しかし、入院をして手術治療を受ける方も年間1,500名以上いらっしゃいます。手術治療に臨む時には誰もが不安を持たれることと思います。その不安を少しでも和らげる一助となるように、私達が日常行っている手術治療の周辺につきご紹介していきます。今回は当院の手術室をご紹介します。

■手術室全景 手術室の入り口を入ると見える風景です。扉の向こうが手術室になります。左奥が手術を受ける方の出入り口、右手前がスタッフの出入り口です。手術室内には多くの器材が収納され、手術の進行に伴ってスタッフの出入りも行われますので、導線を円滑にするために工夫をしています。一日10~12件程の手術を行います。



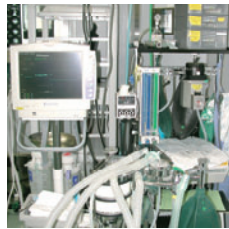
■無影灯と手術台 手術室というが無影灯を連想される方が多いと思います。天井から吊り下げられた二台の灯りが无影灯です。名前の通り、影を作ることなく手術野を照らします。手術の場面に応じて二台の无影灯で、手術野をより明るくすることに注意を払いながら使います。その下が手術台です。手術の部位によって手術に適した体位(身体の向き)が取れるような対応になっています。甲状腺の手術は仰臥位(仰向け)で頸部を伸展した体位で行います。



■手洗い器 手術に臨む前に、手術に直接関わる医師(術者、助手)、看護師(直接看護)は上腕から指先までを消毒します。蛇口から出ているのは滅菌水です。この滅菌水と洗浄殺菌消毒液によって一定の手順で消毒していきます。特に雑菌の残りやすい指間や爪の間、肘などに注意を払います。このようにして消毒をした後に手術用手袋を着けます。



■麻酔器・モニタ 全身麻酔では麻酔器を使用します。麻酔器は酸素ガス、笑気ガス、吸入ガス麻酔薬を混合して、気管内に挿入された管を通じて患者様の身体へ送るための医療機器です。手術中の呼吸回数や吸気量、気道にかかる圧力等を常に見張っています。また局所麻酔での手術でも鼻にかけた管を通じて麻酔器から酸素を一定量送ることができます。モニタには、心電図だけでなく呼吸状態や血圧、身体の中に酸素がどの位入っているか等を表示されます。麻酔科の医師はこれらの沢山の情報から手術中の患者様の麻酔の深さを調整し、手術が安全に行われる状態を管理してくれています。



■器材 手術では様々な器材が使用されます。右上の写真は術後患者様の創傷部の横から出ているドレーンと呼ばれる管です。手術で甲状腺やリンパ節を切除した部位に出てくる血液や体液を身体の外に排出するためのものです。シリコン製で細く柔らかいものですから入っていて痛くはありません。通常は術後2日目に抜いてしまいます。右下の写真は吸引糸・針付き吸引糸と呼ばれる医療用の糸と針です。止血をするために用いたり、筋肉や皮膚を縫合閉鎖する際に用います。身体に残しても数ヶ月経過すると自然に吸収されてなくなってしまうので、身体に異物が残る心配がありません。

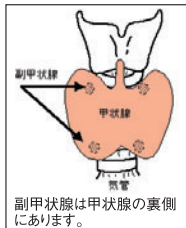


甲状腺 関連情報 副甲状腺について(その1)

伊藤病院 外科 渋谷洋

甲状腺の裏側に副甲状腺(あるいは上皮小体)と呼ばれる臓器があるのをご存じでしょうか?この臓器からは副甲状腺ホルモンという、体内のカルシウムの代謝をコントロールする物質が分泌されています。カルシウムは感覚や筋肉の運動にとっても大切なものなので、副甲状腺は重要な臓器の一つと言えます。ところが、この副甲状腺は人間では最も遅く見出された臓器であると言われています。その存在を発見したのはスウェーデンの医学生で、今から約120年以上前の事でした。彼はイヌの甲状腺裏面にこれまで教科書にのっていない小豆大の明るい色をした組織を見出しました。これがネコ、ウサギ、ウマ、そしてヒトにも共通して認められることまで突き止め、独立した臓器であることが認知され、初めて副甲状腺と名付けられましたが、その働きが分かっていなかったため当初は全く注目されませんでした。それから10年以上経過して、フランスの生理学者Gleyが副甲状腺を摘出したイヌがテタニー(注1)を起こすことを発表しました。原発性副甲状腺機能亢進症に対して副甲状腺摘出という治療が初めて正しく行われたのは、1925年ウィーンの外科医Mandlによってなされました。その後各国の研究者達の努力によって、副甲状腺の機能や構造が徐々に解明されていきました。

副甲状腺の代表的な疾患に原発性副甲状腺機能亢進症があります。この病気は身体のカルシウムバランスが整っていないにも拘わらず不適切に副甲状腺ホルモンが異常分泌される疾患と定義されます。過剰分泌された副甲状腺ホルモンは骨代謝を亢進し、高カルシウム血症・結石や骨粗鬆症といった症状を呈してきます。検査および治療については次回お話し致します。



副甲状腺の図

(注1) テタニー：血中カルシウムが低下したことで引き起こされる全身筋肉の痙攣をこのように呼びます。カルシウム剤を注射や内服で投与し、血中カルシウム濃度を適正に保ってあげれば症状は消失します。

バセドウ病の歴史

伊藤病院 外科 三村孝

1840年ドイツのメルセブルグで開業していたカール・フォン・バセドウが、眼の突出・頻脈・甲状腺の腫大という三つの症状を持った病気を医学雑誌に発表しています。その後40年くらい経ってからドイツではこの病気をバセドウ病と呼ぼうと言われて始めました。明治初期、西洋医学をドイツから学んでいた日本でも、バセドウ病という病名が一般的となり、今日でも使われています。ところが、バセドウの発表より5年早い1835年に、アイルランドの首都ダブリンのロバート・グレースが、同じ症状の病気を報告しています。イギリスは勿論、アメリカなどの英語圏では、この病気がグレース病と呼ばれています。このようにしてバセドウ病は発見されましたが、この病気の原因が甲状腺ホルモンの過剰分泌によるものであると解明されるにはさらに40年の月日が必要でした。治療にはジギタリスやヨードが使われていた様です。確実な治療法はありませんでした。1880年頃、甲状腺腫を切除すると症状が良くなることがわかってきました。しかし、確実な消毒法、止血法も無く、輸血もできない当時、手術はきわめて危険を伴うものでした。1940年代、抗甲状腺薬・アイソトープ治療が開発されるまでは甲状腺切除術が唯一の根本的な治療法でした。



■左:1835 Robert James Graves (アイルランド)
■右:1840 Carl Adolf von Basedow (ドイツ)

伊藤病院診療連携施設のご紹介

大須診療所開院3年目を迎えて

大須診療所(愛知県名古屋市)
大須診療所院長 長浜充二

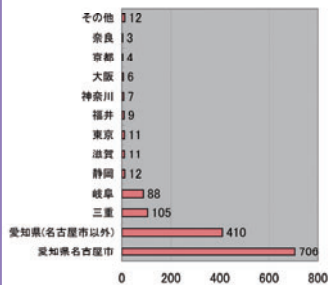
大須診療所を開院して3年目を迎えます。これまで二周りの四季を過ぎて来ました。初めの1年は季節を感じる余裕もなく過ぎて行きましたが、2年目になると診療所の中にも季節の移り変わりをを感じるようになりました。転居をされて新たに受診をされる方、これまでの治療や経過を手紙にして新たな転居先に託す方々を通じて感じる移動の季節、職場検診で甲状腺疾患を指摘されて相談に見える方が多くなる季節など様々です。甲状腺疾患は長期に渡って治療や経過観察が必要となることが多い疾患です。転居を機会に治療や診察が中断してしまわないように、気軽に相談できる診療所としての役割も大切にしていきたいと考えています。



▲大須診療所の待合室

▼大須301ビル(大須診療所は4F)

大須診療所の地区別来院患者数



■アクセス(名古屋駅より)

●地下鉄:20分(230円) ●タクシー:10分(約1,200円)
●地下鉄名城線・鶴舞線「上前津」駅下車(徒歩2分)

■休診日 火・日・祝祭日・年末年始(12/29~1/5)

■診療 診療時間 10:00~13:00 15:00~18:00
受付時間 9:30~12:30 14:30~17:30

●伊藤院長は毎週月曜日に診察しております。●予約制を導入しております。
TEL 052-252-7305(9:30~18:00)

◎詳しくはパンフレットをご用意しておりますので、そちらをご覧ください◎

健康に関する記事 睡眠時無呼吸症候群(SAS)について

伊藤病院 内科 菅川晃伸

睡眠時無呼吸症候群は読んで字のごとく「睡眠時」に「無呼吸」状態になる病気で、英語ではSleep Apnea Syndrome(SAS)と書きます。「無呼吸」とは10秒以上の呼吸停止と定義され、この無呼吸が1時間に5回以上または7時間の睡眠中に30回以上ある方は睡眠時無呼吸症候群と診断されます。無呼吸自体で死んでしまうことはありません。むしろ無呼吸が続くことで体に負荷がかかり生活習慣病(高血圧や心疾患など)になることや、記憶に新しい2003年の新幹線のオーバーラン事件に代表される昼間の眠気による事故(交通事故、労災事故)に関係し、ご本人だけでなく社会的にも問題となるのです。睡眠時無呼吸症候群の症状には、呼吸が止まった後に急に大きく苦しうにあえぐ「いびき」、朝起きたときに全然疲れがとれずすっきりしない、日中もひどく眠い等があります。診断にはマスクを密着させ、額や頭部にセンサーをつけて測定する睡眠ポリグラフィという検査を用いますが、入院検査になることが多いです。簡便法ではありますが、自分でも簡単なチェックシートを用いてみる事ができます。8つの状況での眠気を4段階でみるものです。合計点数が11点以上では睡眠時無呼吸症候群の存在も否定できないといわれています。

▶ チェックシート

状況	点数			
1. 座って読書をしているとき	0	1	2	3
2. テレビを見ているとき	0	1	2	3
3. 人がたくさんいる場所でも座って何もしていないとき(例えば会議や映画鑑賞中)	0	1	2	3
4. 車に乗せてもらっている時(1時間くらい)	0	1	2	3
5. 午後横になって休憩しているとき	0	1	2	3
6. 座って誰かと話しているとき	0	1	2	3
7. 昼食後、静かに座っているとき	0	1	2	3
8. 運転中、渋滞や信号待ちで止まっているとき	0	1	2	3
合計▶				

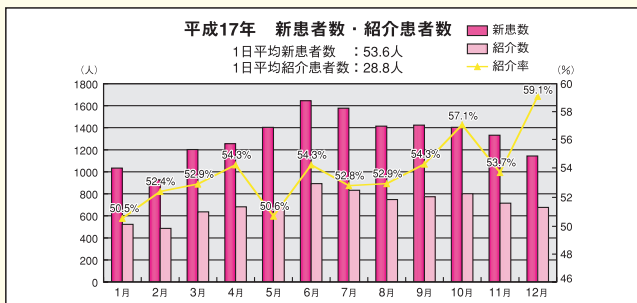
0点...決して眠くならない
1点...まれに眠くなる
2点...時々眠くなる
3点...眠くなることが多い

(Epworth sleepiness scale(ESS):Sleep 14:540-545,1991.)*1(引用)

睡眠時無呼吸症候群の患者には肥満症の合併が多く気道の圧迫が一要因になっていることもあるので、治療にはダイエットが重要視されています。しかしその効果が達成されるまでの期間などは確定できないので、積極的な治療として経鼻持続的気道陽圧(CPAP)などがあります。月に1回の通院が必要ですが本邦でも保険適応になっており、その治療効果は非常に高いとされています。上記のチェックシートで思い当たる点が多いようでしたら、呼吸器内科や耳鼻咽喉科にご相談するようにはいかがでしょうか。

統計情報

昨年(2023年)の newcomers 患者様と紹介患者様の人数をまとめてみました。newcomers 患者様は冬から夏にかけて徐々に増加する傾向があります。1日の平均 newcomers 患者数は53.6人、他の医療機関からご紹介いただいた患者様の1日平均人数は28.8人で昨年度の紹介率は53.7%でした。



病院からの お知らせ

当院では甲状腺疾患診療の充実を目指し、学会活動や研究に常に力を入れており、毎年、国内外の学会にて当院のスタッフが積極的に参加発表を行っております。

1. 第37回伊藤病院研究会

平成18年3月4日(青山ダイヤモンドホール)

昭和52年より続くこの研究会は伊藤病院にとって極めて大切な年間行事であります。毎回、様々な甲状腺疾患に焦点を絞り、伊藤病院の診療実績を報告しております。その姿勢、内容は内外の専門家より高く評価されております。そして、これらの研究結果を全員で真摯に検討し、その後の診療進捗に生かしております。今回は下記の内容について勉強いたしました。

■平川昭平医師

演題「伊藤病院におけるパセドウ病の手術治療について」

■渡邊奈津子医師

演題「原発性甲状腺悪性リンパ腫の診断・治療・予後」



2. 第10回アジア内分泌外科学会

平成18年3月12日~15日(香港)

伊藤公一院長、渋谷洋医師、石井律子医師は平成18年3月12日~15日香港で開催された第10回アジア内分泌外科学会に参加し、アジアを含めた諸外国の内分泌専門の医師達と当院での診療成績を含めた研究報告と意見交換を行ってまいりました。

■伊藤公一院長

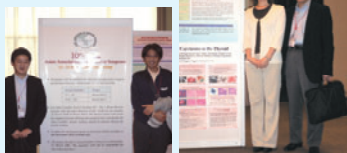
演題「Diagnosis of Positron Emission Tomography (FDG-PET) for the thyroid disease」

■渋谷洋医師

演題「131I treatment of the thyroid cancer: Results of long-term follow up」

■石井律子医師

演題「Squamous cell carcinoma of the thyroid」



部署のご紹介 診療部秘書室

当院では様々な職種のスタッフが働いております。このコーナーでは順番に部署の紹介をしております。今回は「診療部秘書室」です。

Q スタッフの内訳を教えてください。

A 診療部秘書室は女性4名のスタッフで業務を行っています。

Q 仕事の内容を教えてください。

A 医局（常勤医師の詰め所）が仕事場で、新しい医療情報を得るために文献を取り寄せたり、外来診療の予定表作成、ホームページの診療予定表の更新、学会・研究などのお手伝い、業績データベースの作成、その他医師の業務の手伝いなどが主な仕事の内容です。

Q 患者様へひとこと

A 私たちの仕事は日頃、医師への電話取り次ぎなど以外では患者様と直接お話しする機会はほとんどございませんが、「甲状腺を病む方々のために」少しでも患者様のお役に立てますよう「縁の下の力持ち」をモットーに日々の仕事に励んでおります。



表紙no写真

キャットストリート

今回の表紙の写真はキャットストリート（通称）を選んでみました。恩田商店街を中心とするキャットストリートでは、歩行者優先、無電柱化、緑化活動などの環境整備が認められ、国土交通省が推進するくらしのみち事業のモデル地区として選ばれました。最近では「ライフガーちゃん」という謎のウサギ像も現れ、表参道の隠れた待ち合わせスポットになるかも？という噂です。

表参道の雑踏に疲れた時など歩いてみてください。きつとのんびりとした散策ができると思います。



▲「ライフガーちゃん」

編集後記

今年も表参道のけやきの青々とした葉がまぶしい季節がやってまいりました。さて、今回から連載が始まりました「手術室関連情報」はいかがでしたか？この記事を読んで頂き、これから手術をなさる患者様の不安が少しでも和らぐことができれば幸いです。また手術を予定されていない患者様におきましても手術室での安全管理体制やスタッフの姿勢などに少しでも関心をもって頂ければと思います。このような姿勢は手術室だけではなく院内全体でも同様でございます。これからもこの広報誌では患者様を取りまく様々な医療情報をわかりやすくご紹介させていただきたいと思っています。それでは次号もおたのしみに… (村本)

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



「専門医が答えるQ&A
パセドウ病」
1,470円/主婦の友社



「甲状腺の病気」
1,350円/主婦の友社



「甲状腺の病気の治し方」
1,260円/講談社



「健康の医学大事典
“大安心”」
4,700円/講談社

発行 2006年6月1日発行 第14号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6
TEL : 03-3402-7411
FAX : 03-3402-7415
URL : <http://www.ito-hospital.jp>